

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型) 英語論文投稿支援(校正・投稿費用等補助)募集要項(2021年度)

1. 対象者

大分大学に所属する教員、特任教員、特任研究員等、職務に研究活動を含んでいる女性。
原則として、日本学術振興会の科学研究費に応募する研究者番号を持っている者。

2. 支援内容

(A)ネイティブによる英語論文校正費に対する費用補助

(B)論文投稿費に対する費用補助

3. 申請資格

次のいずれにも該当する者。

(1)申請者が大分大学に所属する教員、特任教員、特任研究員等、職務に研究活動を含んでいる女性であること。

(2)原則、リードオーサー(Lead Author)、コレスポンディングオーサー(Corresponding Author)、ファーストオーサー(First Author)のいずれかであること。

但し、執筆者が単独の場合は、上記の資格(リードオーサー・コレスポンディングオーサー・ファーストオーサーのこと)を満たしていると考えられる。

4. 要件

(A)(B)共通

応募論文は、原則として10,000words以下の未発表の学術論文であること。

主たる使用言語は英語とするが、ドイツ語、フランス語、イタリア語などの欧語での論文投稿も応募可能とする。

(A)国際的影響力のある査読付き学術誌への論文投稿を予定し、ネイティブ校正を準備していること。

(1)論文校正費は、個人ではなく論文校正・翻訳業者に依頼したものとする。

(研究推進課の「論文校正・翻訳業者紹介ページ」(学内専用ページのリンク <http://bunsyo2.ad.oita-u.ac.jp/files/v/gakkyo/kenkyou/link/index.html> からアクセスすると、割引があります)。

(2)欧語の論文校正については、当該言語の学術的な校正・翻訳業者に依頼するものとする。

(B)国際的影響力のある査読付き学術誌への掲載が受理されていること。

以下に該当する場合は対象外とする。(A)(B)共通

(1)当該論文投稿のために、既に他の補助が決定している場合。

(但し、個人の科学研究費を合算して使用することができる)。

(2)当該年度に、申請者が既に本制度を利用している場合。(同一年度内の申請はAまたはBのいずれかで、1人1回のみ)。

(3)補助対象経費が2021年度中に処理できない場合。

(投稿の申請をした日が2021年度内でも、支払いが発生した日が翌年度であれば、翌年度の申請対象となる)。

5. 補助対象経費／補助額

補助対象経費:(1)ネイティブ校正費

(2)論文投稿料、オープンアクセス掲載料、登録料等論文投稿に必要な費用。

補助額:対象経費の合計の範囲で、上限8万円まで。

6. 審査方法

投稿支援委員(ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブプロジェクトチーム)が、提出書類の審査を行う。

7. 申請期間

2021年6月1日(火)～2022年1月31日(月)

※予算の都合により、期間の途中で募集を打ち切ることがある。

8. 提出書類

(1)申請書(別紙) ※必ず希望する支援の記号(AまたはB)を記入すること。

(2)当該論文の写し

(3)必要経費が証明できるもの(領収書等)

9. 提出方法

8の提出書類を下記担当宛にEメールで送信するか、学内便で送付または持参すること。

◆申請書提出先：大分大学（旦野原キャンパス）ダイバーシティ推進本部

E-MAIL：fsupport@oita-u.ac.jp

TEL：097-554-7339

希望支援 記 号	
-------------	--

英語論文 投稿支援(校正・投稿費用等補助)申請書

年 月 日

1. 申請者

フリガナ		研究者番号	
氏 名			
所 属		職 位	
連 絡 先	(電話) (FAX) (E-mail)	※PHSは不可	

2. 論文(記入可能な箇所は全て記入すること)

論文標題	(日本語)
	(英 語)
著者(全員:申請者には ○をつける)	
論文発表誌名、巻、号	
発行年月(西暦)	

3. 投稿経費

経費種目 (例:校正料:投稿料:掲載料)	明 細	金 額(円)
	合 計	

4. 論文掲載通知書の写し、及び論文投稿に関わる必要経費の根拠書類(領収書等)を申請書と併せてご提出ください。